

LM・成長国ブルーチップ社債ファンド (毎月分配型／為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第66期(決算日2018年4月5日) 第67期(決算日2018年5月7日) 第68期(決算日2018年6月5日)
第69期(決算日2018年7月5日) 第70期(決算日2018年8月6日) 第71期(決算日2018年9月5日)

作成対象期間(2018年3月6日～2018年9月5日)

第71期末(2018年9月5日)	
基準価額	9,378円
純資産総額	163百万円
第66期～第71期	
騰落率	1.6%
分配金(税込み)合計	240円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・成長国ブルーチップ社債ファンド(毎月分配型／為替ヘッジなし)」は、2018年9月5日に第71期の決算を行いました。

当ファンドは、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

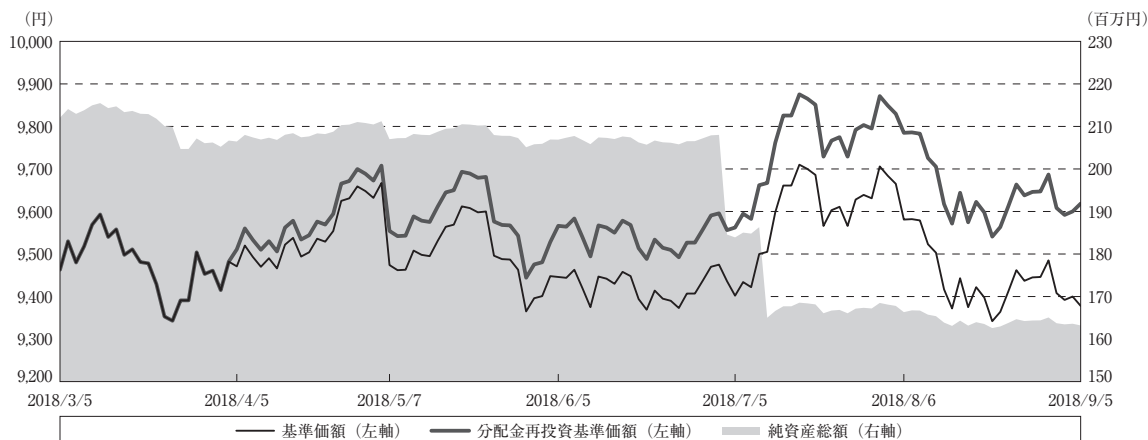
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2018年3月6日～2018年9月5日）



第66期首：9,463円

第71期末：9,378円（既払分配金(税込み):240円）

騰落率：1.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年3月5日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2018年9月5日）のLM・成長国ブルーチップ社債ファンド（毎月分配型／為替ヘッジなし）（以下、当ファンド）の基準価額は9,378円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス1.6%（分配金再投資ベース）、基準価額は155円（分配金込み）上昇しました。

公社債利金を手堅く確保しました。為替損益についても、米ドル高・円安を受けてプラスとなりました。一方、公社債損益については、新興国社債市場の利回りの上昇（価格は下落）を受けて、マイナスとなりました。

1万口当たりの費用明細

（2018年3月6日～2018年9月5日）

項 目	第66期～第71期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	80 (39) (39) (2)	0.838 (0.408) (0.408) (0.022)	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の 平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用)	4 (1) (1) (2)	0.040 (0.014) (0.008) (0.017)	(c) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益 権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出に係る費用
合 計	84	0.880	
作成期間の平均基準価額は、9,495円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

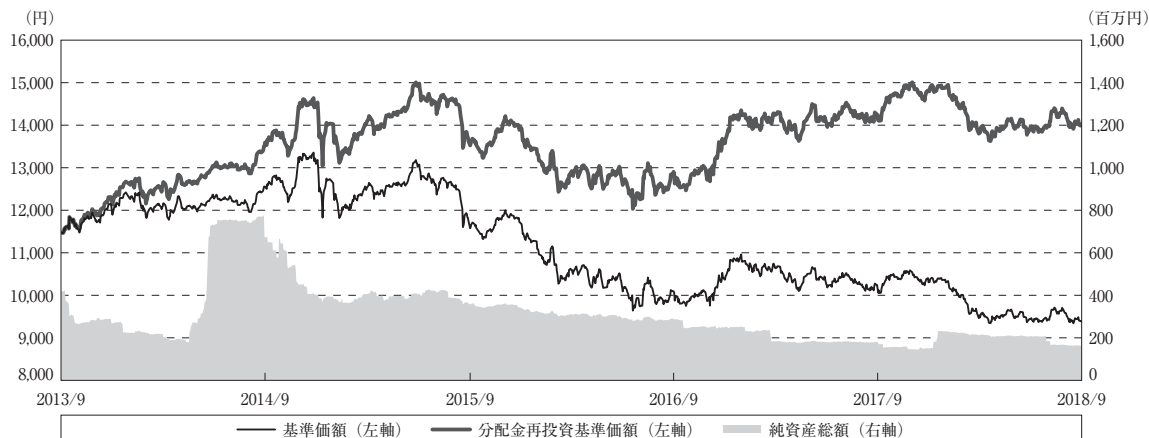
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2013年9月5日～2018年9月5日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2013年9月5日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年9月5日 決算日	2014年9月5日 決算日	2015年9月7日 決算日	2016年9月5日 決算日	2017年9月5日 決算日	2018年9月5日 決算日
基準価額 (円)	11,482	12,557	11,575	10,092	10,146	9,378
期間分配金合計(税込み) (円)	-	960	960	960	960	640
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	18.4	△ 0.5	△ 4.6	10.3	△ 1.4
純資産総額 (百万円)	423	673	356	289	178	163

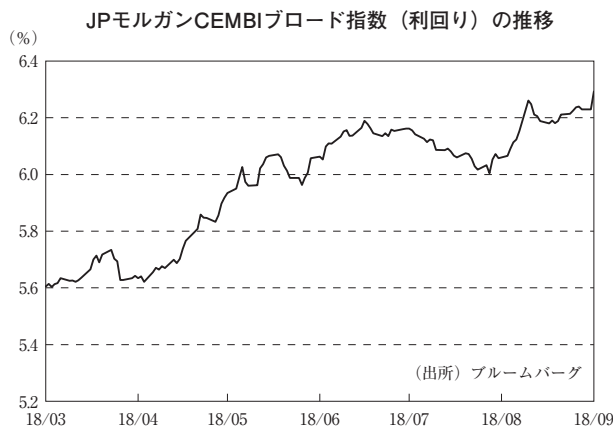
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

投資環境

（2018年3月6日～2018年9月5日）

当ファンドが主要投資対象とする新興国社債の動きを示すJPモルガンCEMBIブロード指数の利回りは上昇しました。期の前半は、トランプ米政権の保護主義的な通商政策を受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、JPモルガンCEMBIブロード指数の利回りは、上昇しました。期の半ばは、米国で10年国債利回りが一時3%の節目を超えて上昇し、新興国市場から資金が流出する懸念が生じたことを受け、利回りは上昇しました。また、北朝鮮情勢を巡る地政学リスクや、イタリアの政局混乱による欧州の政治リスクへの警戒感が強まったことも、マイナス要因となりました。期の後半は、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の議会証言を受けて米国の利上げが緩やかなペースにとどまることが確認されたことなどを受け、利回りは低下（価格は上昇）しました。当作成期末にかけては、米中貿易摩擦の悪化懸念やトルコ情勢の悪化などを受け、投資家のリスク回避姿勢が意識されたことなどから、利回りは上昇しました。

当作成期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。期の前半は、米消費者物価指数（CPI）の発表を受け、米インフレ圧力の強まりが意識されたことなどから、米ドル買い・円売りが優勢となりました。期の半ばは、米国国債利回りの上昇を受けて日米金利差が拡大したことなどから、米ドル買い・円売りが引き続き優勢となりました。その後は、北朝鮮情勢を巡る地政学リスクや、イタリアの政局混乱による欧州の政治リスクなどが意識されたことから、米ドルは対円で上値の重い展開となりました。期の後半は、株式相場が上昇傾向となる中、米ドル買い・円売りが一時強まりました。しかしその後は、日銀による金融緩和政策の修正観測が浮上したことなどから、米ドル売り・円買いがやや優勢となりました。当作成期末にかけては、米中貿易摩擦の悪化懸念や、トルコ情勢の悪化などを受け、米ドルは上値の重い展開となりました。



米中貿易摩擦の悪化懸念や、トルコ情勢の悪化な

当ファンドのポートフォリオ

（2018年3月6日～2018年9月5日）

当ファンドは、主に「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指した運用に努めました。また、当ファンドの実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当ファンドの運用においては、業種別では石油・ガス、情報通信、工業等などへ引き続き厚めに配分しています。これらは新興国にとって戦略的な産業であり、国のサポートを受けやすいセクターであると判断しているためです。地域別では、中南米地域やアジアへ厚めに配分しています。

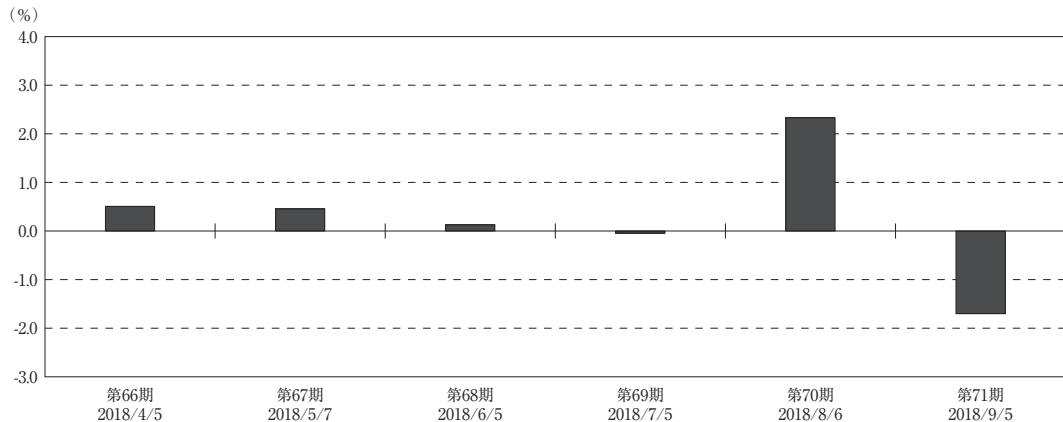
当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年3月6日～2018年9月5日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2018年3月6日～2018年9月5日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	2018年3月6日～ 2018年4月5日	2018年4月6日～ 2018年5月7日	2018年5月8日～ 2018年6月5日	2018年6月6日～ 2018年7月5日	2018年7月6日～ 2018年8月6日	2018年8月7日～ 2018年9月5日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.421%	0.420%	0.422%	0.424%	0.416%	0.425%
当期の収益	27	30	26	27	39	26
当期の収益以外	12	9	13	12	0	13
翌期繰越分配対象額	1,811	1,802	1,789	1,776	1,776	1,763

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、主に「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指した運用に注力していく所存です。

お知らせ

当ファンドの主要投資対象である親投資信託「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」につきまして、運用指図権限の委託先の社名変更に伴い、委託先の名称を「ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー」から「ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー」に変更する約款変更を行いました。

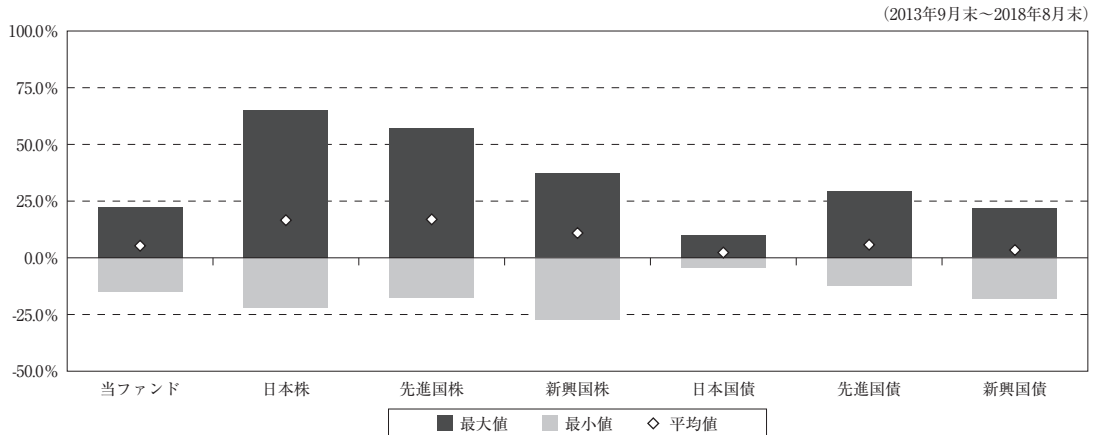
（変更日：2018年5月2日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年10月5日～2022年9月5日まで	
運用方針	主に新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド	新興国の企業が発行する米ドル建ての社債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月5日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	22.4	65.0	57.1	37.2	10.1	29.1	22.0
最小値	△ 14.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.3	△ 12.3	△ 18.1
平均値	5.3	16.6	16.9	10.9	2.3	5.8	3.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年9月から2018年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは、2013年10月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、ヘッジなし・円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、ヘッジなし・円ベース)

日本国債：FTSE 日本国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：FTSE 新興国市場国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します (TOPIX: 株式会社東京証券取引所、MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックス: MSCI Inc.、FTSE 日本国債インデックス、FTSE 世界国債インデックス、FTSE 新興国市場国債インデックス: FTSE Fixed Income LLC)。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2018年9月5日現在）

○組入上位ファンド

銘柄名	第71期末
LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド	100.6%
組入銘柄数	1銘柄

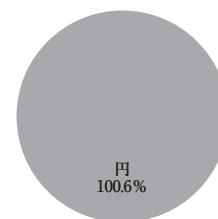
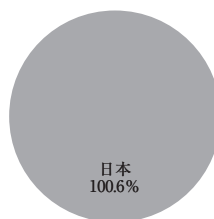
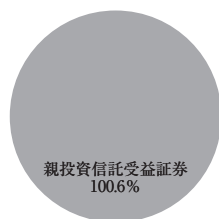
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末
	2018年4月5日	2018年5月7日	2018年6月5日	2018年7月5日	2018年8月6日	2018年9月5日
純資産総額	206,454,408円	207,001,284円	206,891,258円	183,909,643円	166,329,333円	163,206,806円
受益権総口数	217,978,301口	218,495,980口	219,024,681口	195,604,332口	173,603,515口	174,038,421口
1万口当たり基準価額	9,471円	9,474円	9,446円	9,402円	9,581円	9,378円

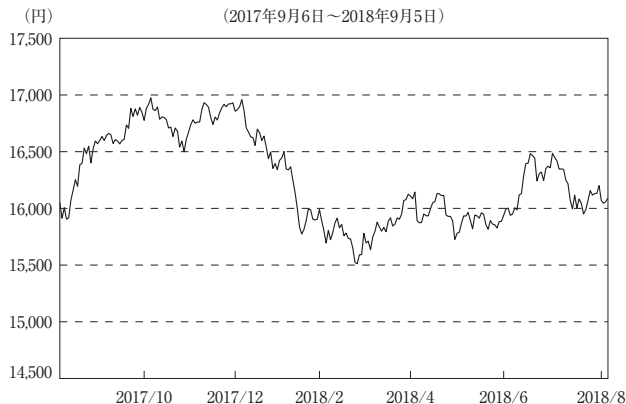
* 当作成期間（第66期～第71期）中における追加設定元本額は3,096,970円、同解約元本額は53,153,372円です。

組入上位ファンドの概要

LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド

【基準価額の推移】

(2017年9月6日～2018年9月5日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年9月6日～2018年9月5日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	1 (1)	0.004 (0.004)
(b) そ の 他 費 用 (保管費用)	4 (4)	0.027 (0.027)
合 計	5	0.031
期中の平均基準価額は、16,263円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2018年9月5日現在)

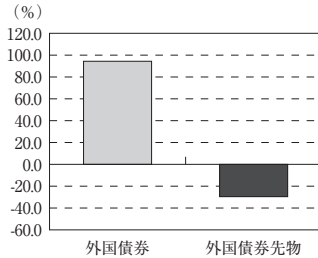
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	米国国債(10年)2018.12限月	債券先物(売建)	米ドル	アメリカ	29.6
2	PETROBRAS GLOBAL FINANCE 7.375% 2027/1/17	普通社債券	米ドル	オランダ	4.3
3	ITAU UNIBANCO HLDG S FRN 6.125% 9998/12/31	普通社債券	米ドル	ブラジル	2.5
4	SUZANO AUSTRIA GMBH 5.75% 2026/7/14	普通社債券	米ドル	オーストリア	2.1
5	VALE OVERSEAS LIMITED 6.875% 2036/11/21	普通社債券	米ドル	ケイマン諸島	2.1
6	VIMPELCOM HLDGS 5.95% 2023/2/13	普通社債券	米ドル	オランダ	2.0
7	YPF SOCIEDAD ANONIMA 8.5% 2021/3/23	普通社債券	米ドル	アルゼンチン	1.9
8	ULTRAPAR INTERNATIONAL SA 5.25% 2026/10/6	普通社債券	米ドル	ルクセンブルグ	1.9
9	LUKOIL INTL FINANCE BV 4.75% 2026/11/2	普通社債券	米ドル	オランダ	1.9
10	RELIANCE HOLDINGS USA 5.4% 2022/2/14	普通社債券	米ドル	アメリカ	1.8
組入銘柄数			68銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

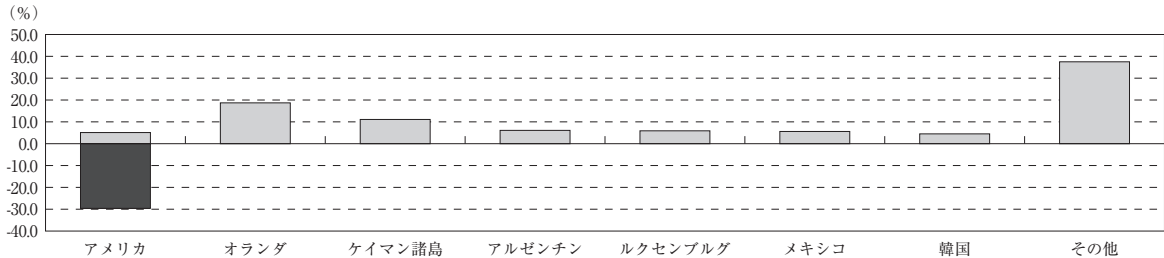
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

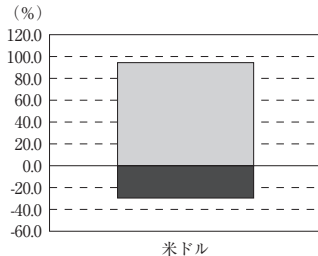
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 先物の比率は絶対値ベースで記載しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。